



# 岡山フルートの会会報

2016年2月号 第204号

HP:<http://www.okayama-flute.net/> E-mail:[okayama-flute@mail.goo.ne.jp](mailto:okayama-flute@mail.goo.ne.jp)

今シーズンは暖冬だといわれていましたが、やっぱり寒い日がきました。しかもとびきり寒かったですね！そしてインフルエンザも流行しています。学業も仕事も演奏会の練習も忙しい時期ですが、食事や休養をしっかりとって、体調を崩さないようしましょう。

## # 柴田勲さん&柴田真梨子さんの CD【特別販売】

昨年の11月号の星っさんコーナーで紹介されたCDが、3,000円(税込)で購入できます(岡山フルートの会会員限定)。購入希望の方は、以下にご連絡ください。

[kumakuma-konomi-1015@softbank.ne.jp](mailto:kumakuma-konomi-1015@softbank.ne.jp)(熊瀬さん)

## # 星っさんコーナー(その119)

「戦火のマエストロ・近衛秀麿」

顧問 星島明郎

寒中お見舞い申し上げます。会報の1月号で、希望に満ちた新年のご挨拶を書きたいと思いましたが、病に倒れ「星っさんコーナー」を書く気力を失っていました。誠に申しわけありませんでした。「健全なる精神は健全なる肉体に宿る」と言うことわざを、身をもって体感し、「健康の有難さ」を思い知らされた一か月でした。それにしても長期間にわたって咳が止まらず、フルートが吹けなかったのは本当に辛く寂しい事でした。

年が明けてのある日、副会長の安達雅彦先生から一枚のDVDを貸して頂きました。それには「戦火のマエストロ・近衛秀麿(1時間40分)」と「音楽家たちの太平洋戦争(40分)」が入っていました。これは安達先生が、私が日頃大変興味をもっているテーマとご存知の内容だったからでしょう。その内容は、指揮者そして作曲家として戦前、戦中、戦後(大正末期から他界される昭和48年まで)にわたって活躍された近衛秀麿さんの素晴らしい業績に対する再評価が記録されたDVDでした。近衛秀麿(このえひでまろ)さんは、元公爵近衛家の次男として生まれ、異母兄の文麿(ふみまろ)さんは政治家として大戦前の元内閣総理大臣を務められた方です。幼少の頃より音楽家を志した秀麿さんは1923年24歳の時ドイツ(ベルリン)に留学し、指揮と作曲をいずれも当時の超一流の先生方について勉強しています。指揮の先生は、私の大好きなカルロス・クライバーのお父さんであるエーリヒ・クライバーに、作曲は、フルトヴェングラーの師であるマックス・フォン・シリングスに師事したそうです。又その翌年には、驚いたことにあのベルリン・フィルハーモニー管弦楽団を自腹で雇って、ベートーヴェンホールで指揮者デビューをしているのです。その後帰国した彼は、先輩の山田耕筰と

協力して日本交響楽協会を設立して日本のオーケストラ活動の基礎を築きました。その時編成した「新交響楽団」では約 10 年間常任指揮者を務め交響楽運動の発展に尽くしました。この交響楽団は紆余曲折を経て現在の「NHK 交響楽団」へと発展するのですが、その記念すべき最初の第 1 回定期公演は 1927 年 2 月 20 日、近衛秀麿の指揮で行われたのです。曲目はメンデルスゾーンの「フィンガルの洞窟」、シューベルトの交響曲「グレイト」などでした。その後は東宝交響楽団、近衛交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、ABC 交響楽団などなど分裂や合併でゴタゴタが多くありましたが、彼はその中で常に中心的指揮者として活躍しています。

1930 年代半ば以降 40 歳代の彼は、ヨーロッパ各国で実に 90 にも及ぶおびただしい数のオーケストラを指揮しています。ミュンヘン・フィル、バイエルン国立歌劇場、ドレスデン・フィル、ワルシャワ・フィル、モスクワ・フィル、レニングラード・フィル、ヘルシンキ・フィル、フィンランド・ナショナルオペラ、BBC 交響楽団、フランス国立放送管弦楽団、NBC 交響楽団等々まさに世界中をまたにかけて、指揮活動をしているのです。しかも 20 歳代の彼がしたように自腹で楽団を買い取るのではなく、楽団から乞われ依頼されて客演指揮し、音楽関係者や地元の評論家達をうならせ大成功を収めているのです。例えば 1933 年 10 月 3 日のベルリン(ベートーヴェンホール)での「ドンファン」では、会場に来ていた作曲者のリヒャルト・シュトラウス自身が、近衛の的確な解釈と指揮者としての実力を褒め讃えた上「素晴らしかった」と彼を抱きしめたと報じています。ベルリンは勿論ハンブルグやミュンヘンの多くの批評家たちも、彼の指揮者としての才能と作品に入り込む力は素晴らしいと高く評価しています。そしてその後何度も、ベルリン・フィルに招かれるようになったそうです。

近衛秀麿のもう一つの業績として特筆することは(こちらの方が大切かも)、第 2 次世界大戦中のユダヤ人音楽家たちをナチの迫害から救い、国外亡命の手助けをしたことです。その記録は信頼すべきアメリカ公文書博物館に厳然と残っているそうです。この事は、安達先生からお借りした DVD のおかげでよく理解することが出来ました。私達の良く知っているレオニード・クロイツァー氏(ピアニスト・指揮者)の亡命の手助けをしたのも彼でした。ドイツ留学時代から大変お世話になっていたクロイツァーがアメリカへの亡命を希望しているのを知った彼は、日本の音楽教育の為に是非力を貸してほしいと、日本への亡命を強く説得したのです。クロイツァーは 1935 年にピアニストとして来日し、そのまま日本へ留まって移住し、東京音楽学校(現在の東京藝術大学)の講師になりました。そしてピアニストとして、又指揮者として日本の音楽界に大きな貢献をされました。指揮者の小沢征爾さんはクロイツァーの指揮を見て指揮者になる決心をしたと言われています。クロイツァーの他にも、ジョセフ・ローゼンストック(新交響楽団の常任指揮者)、マンフレット・グルリット(藤原歌劇団・指揮者)の亡命の手助けも彼がしたと言われています。又音楽家のみならず多くのユダヤ人を亡命させる手助けをしたようです。人道的な信念と貴族出身の近衛家の財力も大いに利用されたと思われま

す。

戦後の秀麿さんは、日本国内でのオーケストラ活動に専念され、近衛管弦楽団、ABC 交響楽団の指揮者として、また京都大学オーケストラの育成など、アマチュアオーケストラの育成にも力を注

がれたと言われています。

さて今から 58 年前のことになりますが、私は一度だけ近衛秀麿さんの指揮で演奏したことがあります。それは 1958 年(昭和 33 年)、大阪中之島に「フェスティバル・ホール」が建てられ、4 月 10 日に「第 1 回大阪国際フェスティバル」が開催された時です。こけら落としは「ニューヨーク・シティー・バレエ」の公演で始まりましたが、それに先立つオープニング・コンサートで、ABC 交響楽団と関西交響楽団合同の祝典演奏がありました。その時の指揮者が、近衛秀麿さんと朝比奈隆さんで、曲目はヨハン・シュトラウスの「皇帝円舞曲」とワーグナーの「マイスタージンガー序曲」でした。近衛さんが「皇帝円舞曲」を、朝比奈さんが「マイスタージンガー」を振りました。60 年近く昔のことではっきりとは覚えていませんが、近衛さんの棒は、かなり特徴のある華やかな振り方だったと記憶しています。

「戦火のマエストロ・近衛秀麿」(DVD)で知った近衛さんの素晴らしい人間愛と音楽の発展に寄与したエピソードは、まだまだ沢山あって書き尽くせませんが、今回はこれ位にしておきます。

## #演奏会情報

♪ファミリーコンサート

日時:2 月 6 日(土)

Morning Stage:11:00 開演(10:30 開場)

Afternoon Stage:15:00 開演(14:30 開場)

会場:岡山福音ルーテル岡山教会

出演(fl):野崎めぐみ, 三尾奈緒子, 立石和美

入場料

Morning Stage:一般/前売り:1,000 円(当日 1,500 円) こども(小学生以下)/500 円

Afternoon Stage:一般/前売り:1,000 円(当日 1,500 円)

曲目:チャイコフスキー/葦笛の踊り, ドビュッシー/小組曲 他

お問合せ:080-1935-5644(立石さん)

午前の公演は 0 歳児からご入場可能です。お子様から大人の方まで楽しめるプログラムとなっておりますので、皆様のご来場お待ちしております。

♪アマービレコンチェルト 14° ~美しきハバネラの奏でと日本叙情歌の調べ~

日時:2 月 7 日(日)14:00 開演(14:30 開場)

会場:ルネスホール

チケット:前売り 2,000 円 当日 2,500 円 中学生以下 1,500 円

出演(fl):堺 由美

曲目:ボルヌ/カルメン幻想曲(エレクトーン伴奏), 美しく青きドナウ, 日本の叙情歌 他

お問合せ:090-3746-7953(堺さん)

♪さんくす☆コンサート Vol.8

日時:3月6日(日)14:00 開演(13:30 開場)

会場:岡山シンフォニーホールイベントホール

入場料:500円(全席自由)

出演(fl):立石和美, 原田悠加, 南亜依花

お問合せ:080-1935-5644(立石さん)

♪原田悠加, 佐々木麻衣デュオ・リサイタル

日時:3月19日(土)18:30 開演 (18:00 開場)

会場:岡山市立オリエント美術館中央ホール

入場料:一般/2,000円 学生/1,000円(当日各500円増)

出演:原田悠加(fl), 佐々木麻衣(S), パク・スンア(pf)

曲目:ヴァイオリン/組曲, 林光/ソプラノとフルートのための「道」,「子供と線路」,「空」 他

お問合せ:090-8062-2930(原田さん)

#演奏会情報&チラシの会報への同封について

演奏会情報は2月26日(金)までに谷川さん(会報係チーフ)に連絡してください。また、演奏会のチラシを会報封筒に同封・郵送(原則として奇数月のみ)を希望される場合は、A4版はそのままで(A3版は二つ折りにして)長谷川楽器店に持参してください。その際、必ず事前に会報係チーフに連絡し、会報発送数を確認してください。会報係チーフ連絡先:qzb03677@nifty.com(谷川さん)

#チラシをホームページに掲載する方法について

演奏会のチラシを岡山フルートの会のホームページに掲載してほしい会員は、チラシを折らないでホームページ係チーフ(柴田さん)に郵送してください。なお、チラシをPDF化できる会員につきましては、以下のアドレスにファイルを添付してお送りください。

ホームページ掲載用チラシ送付先:柴田 聡さん

〒703-8282 岡山市中区平井 1126-52 okayama-flute@mail.goo.ne.jp

【会報の封筒詰めのお知らせ】

3月号の会報の封筒詰めを、3月1日(火)午後7時から長谷川楽器店3階ホールで行います。会員の皆さまには、封筒詰めのお手伝いをお願いします。